

国語科学習指導案

広島市立〇〇中学校
教諭 〇〇 〇〇

1 日時 平成24年〇月〇日 (〇)

2 場所 広島市立〇〇中学校

3 学年 知的障害特別支援学級 第3学年〇名 第2学年〇名

4 題材名 聞き取り名人になろう

5 単元設定の理由

- これまで国語科の学習においては「注意して聞く」ということをねらいとして、相手の話を聞いたり、話した内容について質問に答えたりする活動を取り入れてきた。その結果、短く簡単な内容であれば、繰り返して聞かせることで、質問した内容に合った回答ができるようになってきている。しかし、一度聞いただけで内容を理解し、自信をもって答えることは難しい。その結果、日常の生活場面においても、話題から逸れた会話をしたり会話に参加できなかつたりすることがある。要因としては、聞くことに意識を向けたり、集中を持続させて最後まで聞こうとしたりするなど、聞くことへの構えが十分できていないことや、考えながら聞く習慣ができていないことが考えられる。
- このような生徒の実態から、「聞き取り名人になろう」という題材を設定した。本題材は聞く構えをつくる集中トレーニングの「きくきくタイム」と「話の聞き取り」の2部構成になっている。まず、「きくきくタイム」では、短い言葉や文を集中して聞くことができる教材を取り入れることで、聞くことに意識を向けさせることができる。次の「話の聞き取り」では、内容に身近な人物や話題を取り上げることで、興味をもって楽しみながら聞くことができる。また、何に注意して聞けばよいかについて繰り返し学習することで、必要な事柄をメモすることができるようになり、日常生活にも活かせることができると考える。
- 指導にあたっては、ゲーム的な要素や生徒の興味関心のある内容を取り入れ、聞く意欲を高めたい。また、身近な話題を取り入れることで、生徒同士や教師との会話を楽しみながら、積極的に学習する姿勢を作っていきたい。特に「話の聞き取り」では、事前に質問する内容を提示しておくことで、話している事柄の順序など、話の組立てを意識しながら、話の中心や要点を聞き取ることを習慣づけたい。

6 題材の目標

- 聞く構えを意識して、聞くことができる。
- 話している事柄の順序など、話の組立て方を意識しながら、話の中心や要点を聞き取ることができる。

7 指導計画

- 第1次 聞く構えを作ろう・・・・・・・・・・1時間
- 第2次 注意して聞き取ろう・・・・・・・・・・8時間
- 第3次 大切なことを聞き取ろう・・・・・・・・8時間 本時(4/8)

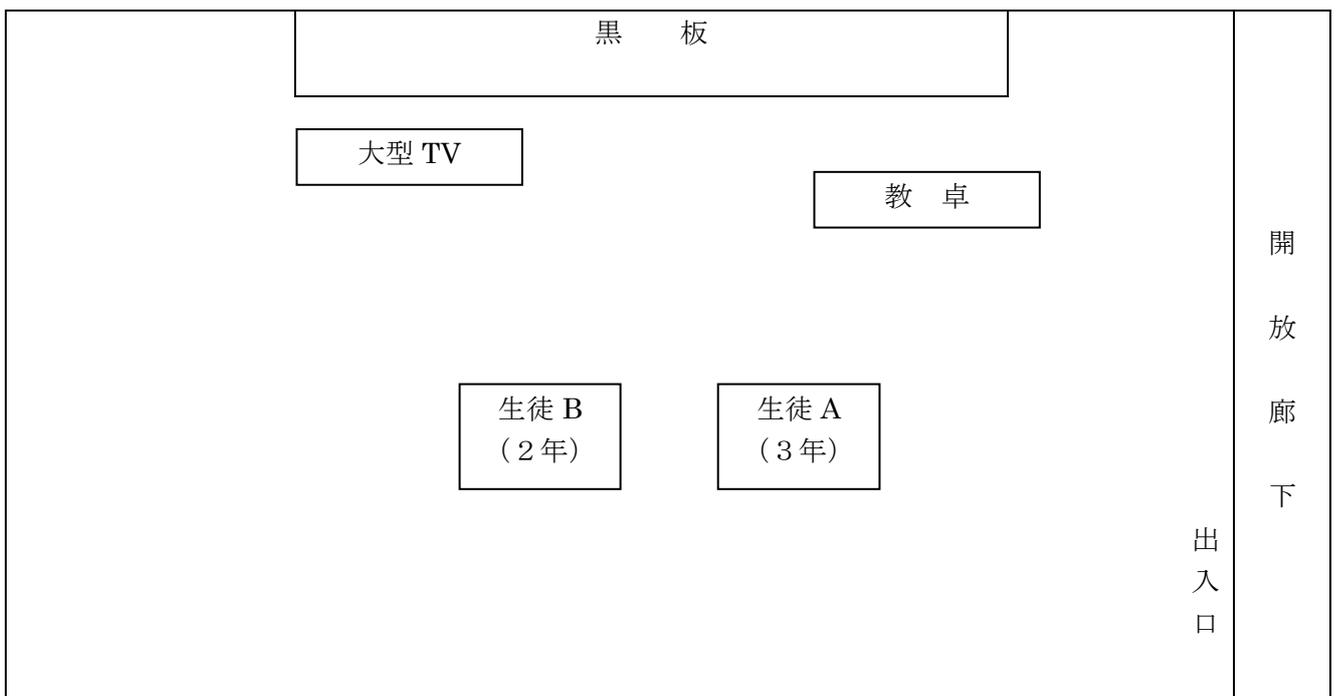
8 本時の目標

生徒	状 況	目 標
生徒 A (○年)	<ul style="list-style-type: none"> ・注意集中の時間が短い、簡単で短い内容であれば、話の半分程度を聞くことができるようになってきている。 ・耳からの情報だけでは記憶の保持が難しいが、質問する内容を文字で示しておくと、必要な内容を意識しながら聞こうとすることができる。 ・簡単で短い内容であれば、内容の半分程度のメモを取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単で短い内容について、聞く構えを意識しながら、話の8割程度まで聞くことができる。 ・簡単で短い内容について、質問する内容を提示しているワークシートをもとに、必要な内容を意識して8割程度聞くことができる。 ・簡単で短い内容について、補助のワークシートをもとに、必要な内容を8割程度メモすることができる。
生徒 B (○年)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の興味のあることが思い浮かぶと、一方的に話し続ける傾向があり、相手の話を最後まで聞くことが難しい。 ・必要な内容を意識してメモすることは難しいが、簡単で短い内容であれば、内容の大体について聞くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単で短い内容について、聞く構えを意識しながら、話を最後まで聞くことができる。 ・簡単で短い内容について、必要な内容を8割程度メモすることができる。

9 準備物

- ・ホワイトボード・聞く構えの表「きくきく5」
- ・大型 TV
- ・パソコン
- ・CDデッキ
- ・ワークシート
- ・補助のワークシートカード
- ・絵カード
- ・○×カード

10 教室の配置図



11 本時の学習計画

学習活動	教師の支援 (○) と評価 (☆)			準備物
	全体	A児 (○年)	B児 (○年)	
1 はじめのあいさつをする。 ・当番が号令をかける。	○当番が分かっていないときには「どちらが当番ですか。」と質問し、黒板に提示してある当番表を見るように促す。	☆学習の準備が整っているか。	☆自分から号令をかけることができたか。	・ホワイトボード
2 本時のめあてと学習内容を知る。	○前時の内容を振り返り、よくできていたところを想起させることで本時への意欲へとつなげる。 ○ホワイトボードに学習する順番を提示しておくことで、見通しをもって学習できるようにする。			
3 聞く構えの確認をする。 ・黙って聞く。 ・体を向けて聞く。 ・気持ちを集中させて聞く。 ・考えながら聞く。 ・最後まで聞く。	○より意識できるように、聞く構えを動作化して発表するよう伝える。	☆聞く構えについて、自分から発表したり動作化して伝えようとしていたりしていたか。	☆聞く構えについて、自分から発表したり動作化して伝えようとしていたりしていたか。	・聞く構えの表 「きくきく5」
4 きくきくタイムを行う。 (1) 暗号を読み取る。 ・ランダムに聞こえてくる音を表に1文字ずつ書いていく。 ・表に記入した音の答え合わせをする。 ・表のどこから読み始めるか推測し文章としてつなげてワークシートに	○集中できていないようであれば、聞く構えの掲示を指さし、意識して聞くことができるようにする。 ○挙手せずに話し始めた場合は、ルールを意識できるように「発表するときにはどうしますか。」等の言葉をかける。	○書く場所が意識できるように、どこから書き始め、どの方向に書いていくかを確認しておく。	○学習内容から逸れて、自分の興味のある話をし始めた時には、「今、話していることは何ですか。」等と言葉をかけ、話している内容を意識できるようにするとともに、「後で聞くからね。」など生徒の気持ちを受け止めるような言葉かけも行う。	・大型TV ・パソコン ・CDデッキ ・CD ・ワークシート

<p>記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 答えを発表する。 ・ 答えを確認する。 <p>(2) スリーヒントゲームをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3つのヒントを最後まで聞き、ヒント全てがあてはまる絵カードや言葉を探す。 ・ 答え合わせをする。 	<p>○ルールの確認を兼ねて、1問目は全員で考えながら行う。</p>	<p>☆聞く構えを意識しながら、話の8割程度まで聞くことができたか。</p>	<p>○文節を分かりやすくするため、文節ごとに／を書いて考えるように伝える。</p> <p>☆聞く構えを意識しながら、話を最後まで聞くことができたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵カード ・ 大型TV ・ パソコン
<p>5 話の聞き取りを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教師の休日の出来事について話を聞き、質問の答えをワークシートに記入する。 ・ 答え合わせをする。 ・ 友達の休日の出来事について話を聞き、質問の答えをワークシートに記入する。 ・ 答え合わせをする。 ・ 役割を交代する。 	<p>○考えながら聞いたり予測しながら聞いたりすることを意識できるように、質問する内容を事前に提示しておく。</p> <p>○質問された内容を意識しながらメモできるように、質問する項目の数だけワークシートに記入できるようにする。</p> <p>○発表する内容は、あらかじめ教師と一緒に作成し、内容を確認しておく。</p>	<p>○通常のワークシートの他に、質問する内容を分かりやすく箇条書きで提示した補助のワークシートを用意し、どちらも選択できるようにしておく。</p> <p>☆聞く構えを意識しながら、話の8割程度まで聞くことができたか。</p> <p>☆補助のワークシートをもとに、必要な内容を8割程度メモすることができたか。</p>	<p>○書きたいようにメモを取っているようであれば、質問の内容に沿って書くように指示する。</p> <p>☆聞く構えを意識しながら、話を最後まで聞くことができたか。</p> <p>☆必要な内容を8割程度メモすることができたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ CDデッキ ・ CD ・ ワークシート ・ 補助のワークシート ・ ○×カード
<p>6 今日のめあての確認をする。</p>	<p>☆聞く構えや、メモの取り方について、できていたところを具体的に評価する。</p>	<p>☆自分なりにできているところを発表できたか。</p>	<p>☆自分なりにできているところを発表できたか。</p>	
<p>7 終わりのあいさつ</p>		<p>☆自分から号令をかけることができたか。</p>	<p>☆学習の片付けができているか。</p>	